

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~5日	9月 ~12日	9月 ~19日	9月 ~26日	10月 ~3日	10月 ~10日	10月 ~17日	10月 ~24日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	115	122	85	6	12	14	13	12	7	14	14
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	64	63	45	7	12	12	11	31	20	16 (18)	15
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	2	3	2	0	0	0	0	1	1	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	8	10	23	0	3	3	3	3	2	6	5
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	25	17	15	9	4	3	4	6	8	3	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	13	14	19	2	2	5	1	4	5	3 (4)	1
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	4	0	4	4	1	0	0	0	1	2	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第42週(10月18~10月24日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7			1		2	1	3
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2	1	1					
四類	8	A型肝炎	1					1		
		日本紅斑熱	7			6			1	
五類	10	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1					1		
		破傷風	2					2		
		梅毒	7	1				4		2
新型インフルエンザ 等感染症	58	新型コロナウイルス感染症	58	4	7	4	2	38	1	2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北 部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第42週に38件の報告がありました。減少傾向ですが、感染の再拡大を防止するため、引き続き、手洗いやマスク着用、換気などの基本的な感染防止対策を徹底しましょう。

2 手足口病

定点当たり2.79人の報告があり、前週の約1.8倍に増加しました。手足口病は、接触感染や飛沫感染などで感染し、乳幼児を中心に流行します。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

3 ヘルパンギーナ

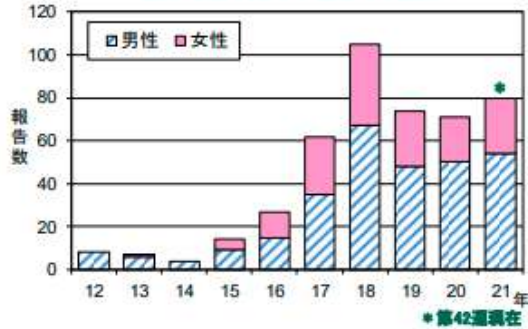
定点当たり2.33人の報告があり、増加が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

4 梅毒

今年の累計は80件となり、昨年の年間報告数(71件)を超えています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがありますので、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

梅毒の発生動向の推移(広島市)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
小児科	インフルエンザ	1	0.03	0.23		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.22		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	咽頭結膜熱	-	-	0.30		小児科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.83		増減	↓	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.33	1.69		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	53	2.21	4.06		眼科	流行性角結膜炎	5	0.63	0.63		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	水痘	3	0.13	0.20		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	67	2.79	1.43			無菌性髄膜炎	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.12			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11				
	突発性発しん	6	0.25	0.44			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
ヘルパンギーナ	56	2.33	0.33		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-						

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	69	60歳代、90歳代
4	A型肝炎	1	2	80歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	9	50歳代
5	梅毒	4	80	30歳代・1人、40歳代・3人
5	破傷風	2	2	60歳代、80歳代

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査：広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(37.7°C) 嘔吐 哺乳不良 下痢 活気不良 末梢冷感 網状発疹	0	2021/06/03	糞便	アデノウイルス41型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.7°C) 咽頭炎 下痢	39	2021/06/06	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載